

# 報告書抄録

ふりがな	しせきのしまじょうあと							
書名	史跡 能島城跡							
副書名	平成19年度郭Ⅰ・南部平坦地調査報告書							
巻次								
シリーズ名	今治市埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第98集							
編著者名	田中 謙							
編集機関	今治市教育委員会							
所在地	〒794-0028 今治市北宝来町1-1-16							
発行年月日	2009年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
のしまじょうあと 能島城跡	えひめけんいまぼりしみや 愛媛県今治市宮 くほちょうみやくほ 窪町宮窪6571、 6572、6573、 6574、6575番地 <sup>ばんち</sup>	202		34° 10' 58"	133° 04' 51"	200708 ～ 200712	316m <sup>2</sup>	史跡整備 に伴う試 掘調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
のしまじょうあと 能島城跡	城館跡	中世	掘立柱建物跡、溝状 遺構、岩礁ピット、 海岸造成、石列	土師質土器、国産陶 磁器、輸入陶磁器、 石製品、金属製品等				
要約	<p>史跡能島城跡保存修理事業に伴い主郭にあたる郭Ⅰと海岸部の南部平坦地の試掘調査を実施した。郭Ⅰでは、岩盤に穿たれた137基の柱穴と掘立柱建物跡1棟、溝状遺構を確認した。郭の北端と西側の突出部では盛土により平坦地を造成していることがわかった。</p> <p>南部平坦地では中世後期に海岸部を段階的に埋め立てて平坦地を造成していることがわかった。造成土には多量の遺物が含まれ、その下限は16世紀中葉頃と考えられる。山側では良好な保存状態で階段状の海蝕テラスを検出した。石積背後は攪乱および湧水のため詳細な調査は不可能であったため、石積と造成の年代的、構造的な関係を把握するには至らなかった。</p>							